

留山

留山は、高さ 180 メートル未満で、この地域で最も低い山の 1 つである。「トメ」は日本語で止める、または禁止することを意味し、300 年以上の間、この山での伐採が禁止されてきた。山で伐採が行われなくなった理由は定かではないが、住民たちが、木が河川流域にとって大事な役割を持つことに気づいたからだと言われている。山の斜面は、ブナとミズナラの原生林で覆われており、中には樹齢 300 年を超える巨木もある。ここで生長するブナの木は、標高が低い土地で生長するブナに典型的な、独特の白っぽい色合いをしている。ブナは白神山地の環境にとって特に重要であり、ブナによって雨水が地下水面に運ばれる。散策路は山を通るが、入山者は地元のガイドを雇う必要がある。